



あいづばんげ

議会だより



200号 記念特集号

令和3年1月25日発行
福島県会津坂下町議会

目次

- ◆ 200号記念特集 …………… 2～7 P
- ◆ 第4回定例会主な審議案件ほか …… 8 P
- ◆ 臨時会・議会の動き …………… 9 P
- ◆ 一般質問 …………… 10～15 P
- ◆ みんなのひろば・編集後記 …………… 16 P

00号を迎えました



「二百号を迎えて」

議長

水野 孝一

町民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃から町議会に對しましてご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症により生活が一変し、新しい生活様式が求められ、町の行事の多くが中止せざるを得ませんでした。議会としまして、その対策に一早く取り組み、町へ要望を重ねてまいりました。

昨年三月の改選により、議員数が二名減の十四名となりましたが、議会一丸となり、安全・安心のまちづくりに取り組んでおります。

議会報告として発行している「議会だより」は昭和四十七年の発刊から、今回で二百号になりました。実に約半世紀の歴史であり、発行に際しては、研修や研究を重ね、日々努力をして参りました。記念すべき二百号の作成には特に力が入り、これを契機に今まで以上に研鑽して参ります。また、町民の皆様や各団体との懇談会である「ばんげ未来トーク」であります。今年度は状況を見ながら開催する予定であります。これからの議会の責務を自覚し、町民の意思を町政に反映してまいります。

結びに、皆様方にとりまして、今年もご健勝でありますことをご祈念申し上げます、挨拶といたします。



「議会だより 二百号」への想い

広報広聴特別委員会委員

青木 美貴子

この度、会津坂下町議会の「議会だより」が二百号を迎えることが出来ました。

昭和四十七年十一月の発刊以来、半世紀にわたり、町村合併、議員定数、議会改革、行財政改革、人口減少や少子高齢化など、様々な問題や出来事に議会として議論を重ね、町民の皆さまの幸せを求めてきた経過を、紙面を通してお伝えして参りました。

「議会だより」は議会活動を皆さまにお知らせし、理解を深めていただくため、年四回の発行を議員の手作りで続けて参りました。

また、議会と町民との繋がりを身近に感じるようインターネット配信や「ばんげ未来トーク」の開催など、努力をして参りました。読んでいただいております皆さまのご声援に支えられた賜物だと心から感謝申し上げます。

二百号を作成するにあたり、改めて現在に至るまでの土台を作り上げてこられた方々に敬意と感謝を申し上げます。これからの議会情報発信の重要性はますます高まってくると存じます。より一層読みやすく、親しみやすい「議会だより」をめざし、様々な方法でお伝えできますよう、委員一同努力して参ります。

第1号（昭和47年発刊）から……

あいづばんげ議会だよりは

2



「創刊二百号

発刊に寄せて」

会津坂下町長

齋藤文英

会津坂下町議会報の創刊二百号、誠におめでとうござい
ます。

議会報は昭和四十七年十一月一日に発刊されて以来、四十
八年もの永きに渡り議会の活動状況を広く町民に提供し、町
民と議会の架け橋として町政の進展に大きく貢献してきまし
た。歴代議長、議員の方々をはじめ、関係者皆様のこれまで
のご努力に心から敬意を表します。

令和二年度より「人口が減少しても活力があり、町民一人
ひとりが生きがいを持てる持続可能なまち」を目指した第六
次会津坂下町振興計画がスタートしています。町政の根幹は、
町民と議会、行政との協働であり町に対する想いを共有し、
活き活きと活動することによって創られるものと考えており
ます。これまでの貴重な議会活動の軌跡が記された「議会報」
は、第一次から第六次振興計画と推進してきました町の施策
に対して様々なご意見、ご提言が記録されております。これ
らの貴重なご意見を肝に銘じながら、町民の皆様が誇れる
まちを目指し、誠心誠意努力し町政発展に力を注いでいく所
存です。

結びに、議会の益々のご発展をご祈念申し上げ、お祝いの
言葉といたします

これからも議会は 皆様の声を町政へ届けます！



昭和47年当時の議会・執行部



現在（令和2年）の議会・執行部



発刊からの あしあと

昭和47年

議会報第1号発刊（11月1日発刊）
議会議員改選選挙（定数24名）
冬期五輪札幌大会

昭和48年

議会報表紙をカラーでかざる
会派ごとの代表質問を実施（政研、新政、社会の3クラブ）
会津坂下町観光協会設立

昭和49年

老人福祉センター開所

昭和50年

第三代町長に菊地行雄氏就任

昭和51年

議会議員改選選挙（定数24名）
青津区の亀ヶ森・鎮守森古墳国史跡指定

昭和52年

日航機ハイジャック事件

昭和53年

宮城県沖地震

昭和54年

議会報の原稿を町民に求める

昭和55年

議会議員改選選挙（定数24名）
町営スキー場全施設完成

袋原大橋完成

国道49号線塔寺バイパス開通式

福島県会津少年自然の家開所

会津坂下町民歌、坂下音頭完成

500円硬貨発行

町議、町長選挙ポスター掲示が公営化

第二次会津坂下町振興計画策定

議会議員改選選挙（定数24名）

町広報誌「あいづばんげ」の文字を高橋藤園氏、斎藤清氏の絵を表紙に採用

町民憲章制定（町のシンボルを菊（花）桜（木）鶯（鳥）と制定）

合併30周年記念として第一回町民マラソン大会開催

夏祭り第一回坂下三人小町コンテスト開催

第四代町長に山口林助氏就任

議会議員改選選挙（定数22名）

中央・坂下公民館完成

青函トンネル開業、瀬戸大橋開通



昭和60年 第1回町民マラソン大会



昭和55年 町営スキー場オープン

あの日あの時、そして今 第1号

| 昭和64年 (平成元年) | 昭和天皇没。平成と改元 消費税3パーセント導入 |
|-----------------|--|
| 平成2年 | 議会報表紙に名誉町民、春日八郎氏が大俵を引いている写真掲載 会津坂下町健康管理センター開所 会津西部斎苑完成 |
| 平成3年 | 東証株価2万円を割る(バブル経済崩壊) 町議会初の海外研修(10名参加) |
| 平成4年 | 雲仙・普賢岳噴火 議会議員改選選挙(定数22名) 第三次会津坂下町振興計画策定 |
| 平成5年 | 鶴沼球場こけら落としとしてプロ野球イースタンリーグ巨人VSヤクルト開催 週休二日制導入に伴い、議会も土曜日休会とする |
| 平成6年 | 北海道西南沖地震災害へ議員が出し合い義援金を送る 坂下西浄化センター完成し供用開始 |
| 平成7年 | 温泉施設湯トピアばんげオープン ばんげひがし公園町民プールオープン 春日八郎記念公園・おもいで館オープン |
| 平成8年 | 阪神・淡路大震災 東京地下鉄サリン事件 議会議員改選選挙(定数22名) |
| 平成9年 | 議会報臨時号発行(改選による議員の紹介) 議会報100号記念号発行(11月25日発行) |
| 平成10年 | 安兵衛通り開通、農村環境改善センターオープン 若宮小学校6年生が議会傍聴 |
| 平成11年 | 消費税5パーセント導入 磐越自動車道全線開通 長野冬季五輪開幕、郵便番号7桁になる 第五代町長に竹内暲俊氏就任 まちづくり2001委員会を設立し、第四次会津坂下町振興計画策定 「議会報あいつばんげ」から「あいつばんげ議会だより」に名称変更 温泉施設「湯トピアばんげ」から「糸桜里の湯ばんげ」に名称変更 |

会津坂下町民憲章

わたくしたちは、美しい自然の中にはぐくまれ、未来に向かってたくましく生きる会津坂下町民です。

わたくしたちは、先人のすぐれた心をうけつぎ、町民としての自覚と誇りをもって協力し、平和で希望にみちたまちづくりのために町民憲章を定めます。

- 一、自然を愛し、緑豊かな美しいまちをつくりましょう。
- 一、互いに助けあい、心のふれあうまちをつくりましょう。
- 一、健康で働き、活力あるまちをつくりましょう。
- 一、きまりを守り、明るく住みよいまちをつくりましょう。
- 一、教養を深め、文化の香り高いまちをつくりましょう。

(昭和60年8月1日制定)



平成2年 春日八郎氏大俵引きに参加

発刊からの あしあと

平成12年

議会議員改選選挙（定数20名）
中・高生模擬議会開催

平成13年

介護保険制度開始
議会報で20世紀の議員一覧を掲載
夜間議会開催

平成14年

ばんげ保育所開所、五浪美術館開館
河沼三町村合併等広域行政調査研究会（会津坂下町・湯川村・柳津町）発足
会津坂下町まちづくりセンター開所
国道49号線坂本バイパス（七折トンネル）開通

平成15年

住民基本台帳ネットワークが本格稼働
会津坂下町まちづくり基本条例施行

平成16年

議会議員改選選挙（定数20名）
両沼五町村（会津坂下町・柳津町・三島町・金山町・昭和村）合併協議会設置
議員による合併問題検討特別委員会の設置

高寺山第一回山開き

第57回全国合唱コンクール全国大会で坂下一中金賞受賞

新潟県中越地震発生

行財政改革検討特別委員会の設置

都市計画道路坂下南幹線全線開通

坂下小6年生が総合的学習で議会傍聴

会津ナンバースタート

教育施設適正配置実施計画「全体事業計画」を作成

磐越自動車道新鶴スマートIC本格導入

町独自施策として、小学生まで医療費無料化実施

八幡小6年生が社会科学学習で議会傍聴

郵政民営化、新潟県中越沖地震発生

議会議員改選選挙（定数16名）

早乙女踊りが会津農林高校生徒と地域の人達により4年ぶり復活

第一次統合により坂下小・川西小・八幡小・片門小が統合

後期高齢者医療制度開始

医療費無料化を中学3年生までとする

町民議会懇談会スタート

議会報の表紙を「残したい技と心シリーズ」とする



平成23年
東日本大震災の
被災地へ向けた
炊き出し準備の様子



平成12年 中・高生模擬議会の様子

あの日あの時、そして今 第1号

平成22年
平成23年

家庭系ごみ有料化開始
議会基本条例制定

議会報の表紙を「ばんげの花シリーズ」とする

東日本大震災発生（町内では170件以上が家屋・土蔵など全壊・半壊等の被害を受ける）被災地の葛尾村、南相馬市等から、川西公民館・農業改善センター・会津自然の家・一般家庭等に約1000名が避難

平成24年

第五次会津坂下町振興計画策定
議会議員改選選挙（定数16名）

議会報の表紙を「ばんげの天然記念物シリーズ」とする

坂下第一・第二中学校を統合し「坂下中学校」として開校

平成25年

第六代町長に齋藤文英氏就任

議会報の表紙を「ばんげの偉人シリーズ」とする

第二次統合により①坂下小学校を分割、若宮小と統合し「坂下南小学校」として開校 ②坂下小学校を分割、金上小・広瀬小と統合し「坂下東小学校」として開校

平成26年

教育委員会に「こども課」新設

道の駅あいづ湯川・会津坂下オープン

平成27年

議会報の表紙を「ばんげの宝シリーズ」とする

第二回定例会一般質問からインターネット録画配信スタート

平成28年

議会議員改選選挙（定数16名）

開かれた議会を目指し「ばんげ未来トーク」スタート

議会報の表紙を「ばんげの宝・グループシリーズ」とする

平成29年

新庁舎建設調査特別委員会設置

議会を代表しての一般質問実施

平成30年

坂下中学校生徒会役員と「ばんげ未来トーク」を実施

第三回定例会より会議録・議決結果・請願陳情の結果をホームページへ掲載

平成31年

議会議員改選選挙（定数14名）

議会改革度調査で県内第3位となる（早稲田大学マニフェスト研究所調査による）

令和元年

第六次会津坂下町振興計画策定

新型コロナウイルス感染が拡大

参考資料（あいづばんげ町政だより、広報あいづばんげ、会津坂下町史、あいづばんげ議会だより）



平成31年 坂下中生徒会役員との未来トーク



平成26年 道の駅あいづ湯川・会津坂下オープン

第4回 (12月) 定例会

12月3日から12月11日までの9日間の会期で開催され、条例改正4件、令和2年度補正予算6件、合計10件の議案が町長より提出され、これらは全て可決されました。また、本定例会中、請願1件が常任委員会に付託され採択となり、関係機関へ意見書を提出することとなりました。以下、主な内容についてお知らせします。

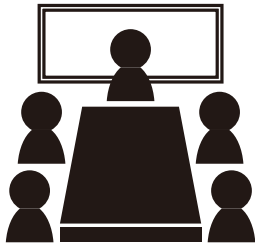
条例改正

特殊勤務手当支給に関する条例の一部を改正する条例

会津坂下町税特別措置条例の一部を改正する条例

延滞金等の割合の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

会津坂下町国民健康保険税条例の一部を改正する条例



(全員賛成で可決)

令和2年度一般会計補正予算(第9号)の主な内容

| 会計名 | 補正前 | 補正額 | 補正後 |
|---------------|------------------|-----------|------------------|
| 一般会計補正予算(第9号) | 93億 9,347万9千円 | 5,587万2千円 | 94億 4,935万1千円 |

<主な歳入内容>

- ふるさと納税寄付金 増5,500千円
- 自立支援給付費等負担金 増15,000千円
- 農業災害復旧費補助金 増6,500千円

<主な歳出内容>

- 地方創生臨時対策費 増38,662千円
- 有害鳥獣被害対策事業 増820千円

賛成

小畑博司議員

コロナ禍が長引く中、産業・教育・医療・福祉など、多方面への影響が続いており、行政の果たす役割は大きくなるばかりです。子どもや女性、不安定な雇用形態で働くコロナ禍の影響を受けやすい方々にしっかりと目を配り、痛ましい犠牲が出ないように、これまで以上の支援策が執行されますよう期待して賛成討論とします。

賛成

五十嵐一夫議員

本案に対し賛成するものの、同僚議員からも指摘があったように、若宮コミセン工事請負費が4千万円もの補正の追加は、当初提案時に後から追加補正があるとの説明がなかったからであり、議会から聞かなかつたからではなく、当初に説明を十分にすべきもので、この件に限らず議会への説明・開示は十分に求める。

賛成

渡部正司議員

コロナ禍での臨時交付金の活用として、本来は対象外だった建物整備を、地方創生対策として工夫して申請し、国に認められたものが若宮コミセン併設のテレワークセンターです。その発想や努力、臨時交付金の再配分の工夫を大変評価します。今回の建設費予算増額計上のあり方については、申請時期が短い等の制約上の補正の方法と解釈しています。



討 論

審議案件に対する状況

| 件名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 |
|------------------------------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 目黒 克博 | 蓮沼 文明 | 物江 政博 | 赤城 大地 | 横山 智代 | 渡部 正司 | 小畑 博司 | 佐藤 宗太 | 山口 享 | 渡部 順子 | 五十嵐一夫 | 酒井 育子 | 青木美貴子 | 水野 孝一 |
| 議案第102号 令和2年度会津坂下町一般会計補正予算(第9号) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 棄権 | ○ | ○ | ○ | ○ | 議長 |

上記以外の議案は全員賛成で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 議長は採決に加わりません

請 願 の 審 査

| 請願番号 | 受理年月日 | 件名 | 請願者氏名 | 紹介議員 | 付託委員会 | 審査結果 |
|------|------------|---|--|----------------|-------|------|
| 第7号 | 令和2年11月24日 | 「国の制度として『20人程度学級』を展望した少人数学級の実現を要望する意見書」の送付を求める請願書 | 河沼郡会津坂下町字惣六2-4 福島県教職員組合河沼支部 支部長 横田恵一 | 横山 智代 渡部 正司 | 文教厚生 | 採 択 |

10月20日開催 第4回臨時会

●議案第87号 財産の取得について

(全員賛成で可決)

【内容】

小中学校GIGAスクール整備事業に伴い、児童生徒一人につき一台のタブレット端末を整備し、学習活動の充実を図ることにより、児童生徒の確かな学力の定着及び向上を目指すために導入する。

【主な質問内容】

タブレット端末を活用した授業はこれから必要であると感じますが、従来の情操教育が欠乏してくることを危惧します。

【回答】

機器を使った効果的な授業を行いながらも心が豊かになるよう留意しながら指導していきま

11月5日開催 第5回臨時会

●議案第88号 専決処分等の報告及びその承認について

専決第11号令和2年度会津坂下町一般会計補正予算(第7号) (全員賛成で可決)

【内容】

両沼地方発熱外来設置に伴う一般会計補正予算の専決処分等の報告及びその承認について。

●議案第89号 工事請負契約の締結について

(全員賛成で可決)

【内容】

町道北裏通り線に延長144.6mの、下水道管を埋設する工事について。

11月27日開催 第6回臨時会

●議案第90号 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

(賛成多数で可決)

【内容】

県人事委員会勧告により、12月支給分の職員の期末手当を0.05月減額する。
※他7件の議案は議案第90号に伴うものであり、全て賛成多数で可決。

定期監査の報告

令和2年度の町の事業・執行状況が適正・適切に実施しているかを11月6日～19日にかけて、各部署をチェックしました。

「新型コロナウイルス感染症対策に係る大型補正予算の発生もありましたが、各種事業も計画通りに進められ、且つ、諸帳簿・書類の整備状況においても概ね良好であります。

また、町の最優

先課題である財政健全化や行政経営改革プランの取り組みについても、全庁的に積極的な取り組み状況が伺えました。」との報告がなされました。



定期監査の報告書を渡す仙波代表監査員と酒井議員

10月からの議会の動き

11月20日に議場において、動画視聴による議員研修会を行いました。コロナ禍の中、他市町村への行政視察研修が行えませんでした。山梨学院大学法学部教授、江藤俊昭氏による「議会改革の最前線」議会特別表彰町村の取り組み事例からみる議会改革のヒント」をはじめ、他2つのテーマについて研修を行いました。終了後、議員間で意見交換を行い、このような状況下でもできる研修がある、もつと議員間での討議が必要であることに気付いたなど、有意義な研修を行うことが出来ました。



研修会の様子



議員が町政を質す！

第4回定例会では、9人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、10ページから15ページです。

| 質問議員（質問順序） | | 質問項目 | 頁 |
|------------|---------|--|------|
| 1 | 五十嵐 一 夫 | ①「道の駅」現状で満足するのか、これから変えていくのか ②移住・定住の現状、実績、コロナ禍による影響をふまえ、今後どのように取り組んでいくのか ③これからの坂下旧町内の街区形成に、空き地・空き家対策を兼ねた「ご寄附」による道路整備を | P 11 |
| 2 | 横 山 智 代 | ①来年度の予算方針について ②介護保険料について ③町の「ねたきり高齢者等紙おむつ給付事業」は再開すべき事業と思うが町の考えを伺う ④職員の適材適所への配置について | P 11 |
| 3 | 山 口 享 | ①町長の政治姿勢について ②コロナウイルス感染症の影響について ③町の地域振興策について | P 12 |
| 4 | 渡 部 順 子 | ①町の花、菊植栽による活性化について ②坂下駅トイレ改修について ③町下水道と農業集落排水事業について ④閉校となった園舎・校舎について | P 12 |
| 5 | 佐 藤 宗 太 | ①町長の政治姿勢について ②財政について ③コロナウイルス感染症対策について ④コロナ禍による学校教育のあり方について | P 13 |
| 6 | 小 畑 博 司 | ①長引くコロナ禍への対応は ②新庁舎建設を問う | P 13 |
| 7 | 蓮 沼 文 明 | ①近年の会津坂下町の企業誘致対策事業について ②公共施設におけるネーミングライツ制度について ③春日八郎おもいで館の案内看板について | P 14 |
| 8 | 目 黒 克 博 | ①セイタカアワダチソウ・ブタクサ等の外来植物の駆除対策について問う ②消防協力隊について問う | P 14 |
| 9 | 渡 部 正 司 | ①ばんげの通信簿 | P 15 |

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。



五十嵐一夫 議員

道の駅のこれから

地域おこし協力隊員を配置します

問 「道の駅」現状で満足するのか、変えていくのか。全国で道の駅でホテルの併設が進行しています。ホテル、レンタサイクル基地、コンビニの設置、高速バスの増便等取り組みましょう。

答 地域の魅力を感じる取り組みとして、町内への周遊バスの運行やレンタサイクルサービなどが考えられます。

インターネットによる販売、公報媒体を活用した情報発信「人・物・情報」が集まり、周辺に様々な効果が表れる地域活性化につながる拠点として、湯川村と連携し取り組んでいきます。

地域おこし協力隊員を配置し、出荷農家の掘り起こしや集荷支援、集荷農産物の品質向上・販売促進を担います。



旧町内裏通り対策

問 坂下旧町内の大通りから裏通りへの通行対策に、空き地・空き家対策を兼ね、「ご寄附」による、通路・道路整備の制度を考えてはどうか。裏通りへの冬季の通行確保、消防車・救急車が進入しやすく、生命を守り、防災にも効果があります。

答 町に買い付ける財力がないので、ふるさと納税に似た手法で「ご寄附」いただき、通路・道路に「〇〇通り」「〇〇道路」と「ご寄附者」の冠をつけ、後世にその名を遺す方法です。

問 土地所有者の協力と地域の方々意向、道路整備の効果を検証しながら進めていく必要があり、道路に見合った用地の寄附がされ、関係者の協力が得られる場合には、地域の意向を踏まえ実施計画策定の中で事業化していくことは可能と考えます。

答 「お試し住居」平成29年度から15件の利用、移住実績はありません。

これも質問

問 移住・定住の取り組み



横山智代 議員

「ねたきり高齢者等紙おむつ給付事業」の再開を

紙おむつ給付事業」の再開を

町単独でできず廃止しました

問 「ねたきり高齢者等紙おむつ給付事業」は再開すべきではないか。

答 町の「ねたきり老人等紙おむつ給付事業」は、平成6年度から平成29年度までの間、在宅のねたきり老人及び認知症で常時失禁状態にある方を対象に、本人及びその家族の経済的負担の軽減と福祉の向上を目的とし、1か月3,000円の紙おむつ券の給付を実施してまいりました。その後、平成30年度の制度改正に伴い、国や県の交付金の対象外となり、町単独事業として実施せざるを得なくなったことか

ら、事業廃止となりました。在宅の高齢者を対象とした町独自の支援として、寝具乾燥消毒サービス、緊急通報装置の給付、軽度生活援助、特殊寝台の貸付、配食サービス、ごみ回収等の事業を行っております。

来年度の予算編成方針は

新型コロナウイルス感染症対策や経済対策に十分な予算を措置してまいります

問 来年度の予算編成方針はどのようなものか。

答 当町の財政状況として、前年度より改善しましたが、県内市町村の中では下位に位置しており、財政健全化への取り組みを継続してまいります。全国で感染拡大が進行しているコロナ禍での経済活動の落ち込みにより、令和3年度の地方税・地方交付税の減収は避けられない見通しです。限られた財源をこれまで以上に効果的・効率的に配分し、新型コロナウイルス感染症対策や経済対策に十分な予算を措置してまいります。



新型コロナウイルス感染症対策や経済対策に十分な予算を措置してまいります。



山口 享 議員

今後の町政に対する町長の思いは
元気なまちの創造を目指す運営

問 町長の政治姿勢について。

答 町民の命と生活を守ることを最優先とし、第六次会津坂下町振興計画に基づく施策を実施するとともに、財政健全化アクションプランにより財政の健全化を着実に進め、「人口が減少しても活力があり、町民一人ひとりが生きがいを持てる持続可能なまち」の実現に向け、町政運営にあたってまいりたいと考えております。

やアドバイス等の支援を行っていきま
す。

問 地域振興策、企業誘致成功に向けての取り組みは。

答 「バイオマス発電所」の計画、進出が検討されております。町としてしましては、カーボンオフセットの考え方による地球温暖化防止や、森林の再生、雇用の場の確保につながるものとして、新規企業の進出につきましては大変喜ばしいことであります。

進出企業においては、令和6年の創業を目指していることから、法令等の許認可事務がスムーズに進むよう相談



バイオマス発電所建設予定地



渡部 順子 議員

町の花、菊植栽による活性化を！
町の花、菊の推進を図って行きます

問 町の花である菊の町内全域での、推進事業の提案をします。

答 推進運動の一環とし、各地区や団体に広げ、更なる地域の活性化や地域づくりに町の花菊の推進を図ります。

問 各地区コミセン事業、多面的機能支払交付金事業、遊休農地の利用など関係者が連携をし、ザル菊の植栽はできないのか。

答 町の花である菊の植栽について、推奨します。各行政区や各種団



中村ザル菊園

体で進めて頂き、色々交付金を利用してもらい、アダプト制度を活用すれば、種苗や肥料、資材など費用面でのサポートすることが、可能であります。

閉園閉校後の園舎・校舎は解体撤去に取り組んでいきます

問 園舎・校舎にある物は財産、備品、それともゴミなのか。今ならまだ利用可能な物があるはず。町民への売却の考えはないのか。

答 現在、舎内には、オルガン等の楽器、理科教材、食器、イス等が残っており、イベント等のバザーの実施を検討し町民の皆様を活用して頂くようにします。

これも質問

問 坂下駅トイレ改修について

問 町下水道と農業集落排水事業について



佐藤宗太 議員

**新庁舎建設の今後の見通しは
どのようなものか**
**新庁舎建設事業の再開に向け
財政健全化に取り組んでまいります**

問 新庁舎建設が延期になったが、その評価と今後の見通しはどのようなものか。

答 厳しい財政状況を受けて苦渋の決断をさせていただいたところであります。

町民の皆様や関係者・地権者の方々などへの混乱と行政への不信感を与えた事に対し、深くお詫び申し上げます。老朽化した現庁舎は、耐震性の観点からも防災の拠点としての役割を果たすことができない状態にあります、1年でも早い新庁舎建設事業の再開に向け取り組んでまいります。

問 齋藤町政となり7年6ヶ月が経過しようとしているが、齋藤町長が掲げていた財政健全化の取り組みの評価は。

答 就任以来、地方交付税の減少などにより歳入の確保が課題となる反面、扶助費などの経常的経費が見込まれ、将来にわたる負担も増大し厳しい財政状況でした。それに対応すべ

く、平成28年に「第2次会津坂下町行政経営改革プラン」、平成30年度に10年間の財政シミュレーションを策定、令和元年度に第6次会津坂下町振興計画を策定し、前期計画期間を、「財政健全化最重点期間」とし、財政健全化アクションプランを基に財政健全化へ向け、着実に進んでおります。

問 GIGAスクール構想によって、オンラインを活用したコミュニケーションが可能となるが、不登校の子どもたちとのオンラインを活用した支援の考え方は。

答 不登校児童生徒は、家庭に引きこもりがちであるため、不登校による学習の遅れなどが、学校への復帰や中学卒業後の進路選択の妨げとなっている場合があります。GIGAスクール構想によって整備されるICT機器を効果的に活用することによって、不登校の子どもたちへの学びの保障を含めた支援を充実させることが可能となつてくるものと考えております。

また、「地域づくり」については感染症防止対策を講じながらの事業実施にご尽力いただいております。また、各コミセンのセンター長に感謝申し上げます。今後、今更以上区



小畑博司 議員

**長らくコロナ禍への対応は
支援が必要な方に対し、今後も情報を
発信して支援事業を進めてまいります**

問 生活弱者の状況把握と対応はどのように進めているのか。また、困難を強いられている「地域づくり」についてはどのように考えているのか。

答 町では支援が必要な方に対し生活や健康状態を確認し、その方に合った支援事業を関係機関と共に展開しております。今後も支援が必要な方に情報を発信し安定的な福祉行政を進めてまいります。

また、「地域づくり」については感染症防止対策を講じながらの事業実施にご尽力いただいております。また、各コミセンのセンター長に感謝申し上げます。今後、今更以上区

また、「地域づくり」については感染症防止対策を講じながらの事業実施にご尽力いただいております。また、各コミセンのセンター長に感謝申し上げます。今後、今更以上区



旧片門小学校

長会・自治会長会との連携を深め、状況に合った地域の活性化・地域力の増進を進めてまいります。

新庁舎建設を問う

あらためて住民・議会への丁寧な説明が必要だと考えます

問 齋藤町長が公約として掲げた「新庁舎建設」は延期となり財政健全化に舵を切りました。あらためて現庁舎の危険性をどのように認識しているのか、また建設場所も含め、すべて白紙からの再出発が当然との思いだが考えを伺う。

答 現庁舎は建築から50年以上が経過し、平成8年に実施の耐震診断では危険な建物と判断されています。建設場所については議会において議決いただいた事項を尊重してまいります。今後、新庁舎建設事業を再開するにあたっては、検討内容や進捗につきまして、あらためて住民および議会に、丁寧な説明が必要であると考えます。

また、「地域づくり」については感染症防止対策を講じながらの事業実施にご尽力いただいております。また、各コミセンのセンター長に感謝申し上げます。今後、今更以上区



蓮沼文明 議員

町工業団地に32年ぶりの企業進出
「バイオマス発電所」建設への町の見解は
令和6年の操業開始を目指し、
町としても支援していく考えであります

問 坂本工業団地において32年ぶりの企業進出、2024年に稼働目標とした「バイオマス発電所」建設計画についての経緯及び町の見解を伺う。

答 今回報道の「バイオマス発電所」は、坂本地内の都市計画区域の工業地域内に設置を計画しており、第2坂本工業団地内には、貯木場を計画しております。町としては、間伐材や未利用材を活用するカーボンオフセットの考え方による地球温暖化防止や森林の再生、また新たな雇用の場として若者定住や経済活動による地域振興につながるものとして、新規企業進出は、大変喜ばしいことであり、令和6年の操業を目指し、町としても支援していく考えであります。

選定や町内外企業へのアプローチ等について、町の取組み方針を伺う。

答 ネーミングライツ事業については、施設の維持管理に民間資源を活用した有効な制度であり、数多くの施設に導入することが理想であります。今後のネーミングライツの導入にあたっては、町だけでなく命名権者側のメリットも考慮しながら、公共施設に限らずインフラ施設等での導入も検討してまいります。



ネーミングライツ制度により
BMI 鶴沼球場

これも質問

問 坂本工業団地の空き区域等について、今後の企業誘致戦略及び取組み方針を伺う。

答 春日八郎おもいで館の案内看板の設置ポイントは適正なのか、町の見解を伺う。

今後のネーミングライツの導入基準は
公共施設に限らず、インフラ施設等での導入も検討してまいります

問 今後のネーミングライツ制度の活用において、候補対象物件の



目黒克博 議員

外来種植物の駆除対策は
生態系被害外来種を問わず
除草等をお願いしていきたい

問 外来種植物の今後の調査と対応を伺う。

答 当町としては、「特定外来生物」被害が生じていたり、生じる恐れがある場合は、防除を行う実施方法等について、国の確認・認定を受けることができます。当町では特定外来生物の植物で「オオキンケイギク・オオハンゴンソウ」の二種類が確認されましたが、人体に影響のないものに分類されます。今後の調査に当たりましたは、県の概状調査の実施に合わせながら進めて参ります。



外来種植物の「セイタカアワダチソウ」

答 当町といたしましては、先進的な取り組みをされている金上協力隊の活動事例により、自主防災組織等の設立の機運の高まりを目的に町広報等に取り上げ、広く町民の方々に知っていただくことで、協力隊の理解が深まることを期待します。また比較的災害の少ない会津地方では、災害に対する住民意識の希薄化が懸念されている中で、意識の底上げを図ることから啓発活動に注力をしなければならぬと考えます。協力隊の組織のない地域においては、地域の要である区長・自治会長のご理解なしではできないことから、今後なお一層、連携を深めて参ります。

消防協力隊について問う
金上協力隊活動を広報等で、
町民の方々に周知いたします

問 協力隊活動と自主防災組織に理解を求める為の取り組みは。



地域の安全を守る
「消防協力隊」



渡部正司 議員

ばんげの通信簿はいかに 財政健全化判断比率が改善

問

町の通信簿の一つに「行政評価」があり公表されている。町の政策、施策および事業について、その進捗や課題、成果等々の実態が町民に知られているとは言い難い。行政評価システムの現状と課題をどのようにみているか。

答

事業の実施、評価、改善策を実施するというサイクルから生み出される成果は、財政健全化判断比率の指標に表れるものであり、「町の通信簿」と認識しています。

行政評価は、各事業担当部署が取り組みを振り返り、その効果と課題、改善策をまとめ、ヒアリングを実施し、町行政評価委員会による外部評価とあわせて行政評価結果としています。その結果は、ホームページや本庁舎、各地区コミセンで公表しています。行政評価は、一つひとつが行政改革につながることから、必要性を再認識し、取り組むことが必要と考えています。

問

過去の評価をどのように活かしているか、行政評価のあるべき姿をどのように実践していくのか。

答

今年度は、総括評価を実施しました。行政評価委員会からは、「さらに推進できたのではないか」「一つひとつの取り組みと財政指標との結びつきが分かりにくい」との指摘がございました。「誰のために、何のために」のように取り組むのか」等に分かやすくし、多様化する住民ニーズを的確に把握し改革に取り組んでまいります。

「町の通信簿」として
財政健全化判断比率（一部）

| | 早期健全化基準* | 平成26年度 | 令和元年度 |
|-------------|----------|--------|-------|
| 実質公債費比率 (%) | 25.0 | 14.0 | 13.3 |
| 将来負担比率 (%) | 350.0 | 139.5 | 87.4 |

*早期健全化基準：財政の健全化を図るべき基準

教えて！議会のことば Part 3



◆定例会

付議事件の有無にかかわらず、定期的に招集される議会のことで、地方自治法により毎年、条例で定める回数を招集することになっています。当町では条例（会津坂下町議会定例会の回数を定める条例）で年4回と定めており、3月、6月、9月、12月に招集されます。

◆臨時会

定例会のほかに、臨時の必要がある場合に随時招集され、付議事件として告示したものに限って審議することができる会議のこと。

◆一括議題

一議案ずつ議題とするのではなく、議事の能率化を図るために関連する議案を一括して議題とすること。

◆常任委員会

議会が町の事務に関する調査や議案などの審査を行うため、常に設置されている委員会のこと。当町では令和2年の改選より「総務産業建設常任委員会」「文教厚生常任委員会」の2つの委員会となり、各7名で構成されています。



みんなのひろば



山口 善光さん
(五香)

仕事と家庭の
両立家です

令和二年の学校生活は政府の休校要請で三月四日から小中高が休校、更に四月十六日に緊急事態宣言が出され再び学校が休校、そして塾・予備校にも休業要請が出されました。学校の最後と最初の休校の影響は勉強の苦手な子に大きく表れ、学力に差が開いたようです。

私は東京での塾・予備校の講師の経験から学力の地域格差に嘆きを覚え、三十六年前に会津地方の子供たちの学力向上のため坂下町に開塾しました。しかし最近十年の子供たちの学力は逆に低下しているのが現状です。

本来、勉強は子供の可能性と夢の幅を広げ大人にするためのものはず。そして学力を向上させるためには子供達の周りの環境が一番大切です。できれば教育委員会と民間人（保護者・民間教育者）を含めた学力向上委員会の設置など地域全体で子供たちの学力向上を目指したいものです。



阿部 巧さん
(立川)

自慢できる
まちにしたい!!

私は、北海道から縁があつて会津坂下町で結婚しました。しかし残念なことにコロナの影響で両親や姉妹、親族を呼んで、結婚式を挙げる事が出来なっています。一日でも早い終息を祈っています。

私は、これから子供を授かって子供のために父親として一生懸命、頑張つて家長を務めたいと思っています。「子供が出来たら」①公園で遊ぶ②プールで泳ぎを教える③川で釣りをする。等、夢は沢山あります。しかし、スポーツ好きの私にとって、この町に町営の体育館が無いのが残念です。また、今後、妻が妊娠した時に町内に大きな病院があるのに『産科』がない事が残念です。最後に私の生まれ育った地より会津坂下町で暮らすほうが良いと両親に自慢出来る町であつてほしいと思います。



次回定例会のご案内

令和3年第1回定例会は、3月4日（木）から17日（水）までの会期（予定）です。一般質問は3月8日（月）、9日（火）午前10時開会予定です。傍聴にぜひお越しください。傍聴の際はマスクの着用をお願いいたします。

編集後記

昭和四十七年町議会だより第一号から今回で記念すべき第二百号の発行となりました。この間、昭和・平成そして令和と年号の改元があり、約半世紀近い時間が経過したことになります。令和二年の春に発生した新型コロナウイルス問題において、医療対策と経済対策の両面から、継続できるまちづくり、「誰ひとり取り残さない」地域共生社会がいま求められております。今後、町が力強く発展し、将来のばんげを担うこどもたちの溢れる笑顔のため、町民みんなが希望もてる町づくり実現のために、町議会は今後も努力して参ります。
(委員 蓮沼文明)

広報広聴特別委員会

- 委員長 青木美貴子
- 副委員長 横山 智代
- 委員 目黒 克博
- 委員 蓮沼 文明
- 委員 小畑 博司

※ 本誌掲載記事写真等の無断転載を禁じます。